

合格体験記

金子結香

出身中学校：皇學館中学校

進学先：藤田保健衛生大学 医学部 医学科

私は医学部医学科を目指して、高校一年生のときからこつこつ勉強を頑張ってきました。夏頃、第一志望校を本格的に決定し、自分の学びたい分野に強い私立大学の医学部推薦入試を受けることにしました。

今思えばきっと、自分一人でがむしゃらに勉強をしているだけでは合格できなかったと思います。私が志望校に合格できたのは必要な教科を早めに調べ勉強のスケジュールを入念に立て、すぐに対策を始めたおかげです。また、その対策のためには先生方に力を貸していただくことが不可欠でした。

面接練習では志望校に合わせた人数の先生が協力してくださり、本番さながらの緊張感を持って練習を行うことができました。また、志望理由なども一緒に考えていただき、当日は内容に感心され、それも自信につながりました。

小論文対策もとても役に立ちました。小論文について何も知らない状態から始めたのですが、何度も添削していただくうちにコツをつかむことができました。

私立校や推薦入試は学校によって傾向が様々ですので、その学校に合わせた対策が必要になります。志望校が決まるまでは学力や評定のために日々の授業やテスト勉強を大切にし、その後は自分に必要な学習は何か見極め頼れる先生に相談したり、自分なりに計画を立てたりすることが合格への道だと思います。

後輩の皆さんの夢への第一歩となる志望校合格を応援しています。

中川初保

出身中学校：皇學館中学校出身

進学先：東京学芸大学 教育学部 初等教育教員養成課程 家庭選修

私は受験において最も重要なことは心のコントロールを上手にすることだと考えています。私自身、コツコツと計画的に勉強してきたタイプではないので、お勧めできるような勉強法などはありません。しかし、私が本当に良かったと思うことは、一緒に勉強を頑張ってくれる友人を見つけられたことです。

私は放課後、友人と大学の図書館へ通い勉強していました。友人が集中して頑張っている姿を見ると、負けられないな、私も頑張ろうと思えるようになっていました。辛いとか勉強が嫌だなという感情はなく、自然と机と向き合えていたと思います。また、帰りは学校から友人と話をしながら駅まで歩いていました。他愛もない話をすることで楽しい気分

になり、勉強の疲れもいつの間にか飛んでいました。励まし合える友人を見つけたことで、勉強にも前向きな気持ちで取り組めたし、たくさん話すことでストレス発散となり、良い精神状態を保てたと思います。

受験は自分との戦いです。怠惰の心が出たり、諦めや妥協を認めたりしてしまうと確実に負けます。後悔することになります。そうならないためにも常に心に余裕を持って受験に挑んで欲しいと思います。学ぶことを楽しんでください。新しい知識を得ること、理解することは本当に楽しいことだと思います。その喜びを感じ取れるだけの余裕を持ち続けてください。そのためにはきちんと息抜きをすることが重要です。息抜きの仕方や勉強の仕方は人それぞれですが、途中で心が折れることのないよう、しっかりと心のコントロールをすることを心掛けてください。

受験には辛いこともたくさんあります。しかし、自分の考え方や心の持ち様で受験に対する姿勢は変わります。辛いという感情に潰されず視点を変えて、前向きに、ベストな状態で受験に挑んでください。最後まで挫けずに頑張ったものだけに見えるものがあると思います。応援しています。